

(別紙様式)

学校評議員意見交換会・評価委員会報告書

安中市立第二中学校

実施期日	平成24年2月16日(木) 14:00~16:00			
出席者	学校関係者	・阪本幹夫(校長) ・石坂克己(教頭) ・山崎英俊(教務主任)	評議員	・吉田 茂 ・本田 英夫 ・野口 千春 ・高山 良一 ・櫻井 敏人
内容(次第)	1 開会 2 あいさつ 3 日程説明 4 意見交換会 (1)本年度の学校経営 (2)学校評価アンケートの結果 (3)学校経営評価の集計結果 (4)教育課程の成果と課題及び来年度の計画について (5)学校評価について意見交換 5 連絡 6 閉会			
意見交換会の概要	<p>○保護者と学校との連携について</p> <ul style="list-style-type: none">・学校行事の参加率についての評価が低い、一学期はまだ行事が少ないので評価が低かった。質問内容に問題有る。・最近働いている人が多いので、行事については休みの日に実施するとかの工夫が必要では。また、魅力ある内容にすることも必要だ。・進路説明会や子どもが活躍する友和祭の合唱などは参加が多い。 <p>○生徒の確かな学力について</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の実態で全国平均より少し低いというのは、何を基準にしているのか。・教科によりまた単元により落ち込んでいる箇所があったらそれを改善するような対策はしているか。・学力については出来る子と出来ない子が両極端に分布する二極化の傾向がある。・学校では、小中と連携し基礎基本の定着に向けて色々工夫しているがなかなか成果が出ない。最近1, 2年生の生徒を対象に基礎内容のプリント課題を与えさせている。家庭学習の習慣が身に付くよう色々工夫してほしい。 <p>○生徒の豊かな心について</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつについては、全校で取り組み評価も良いが、地域の人からあまりしていないとの指摘もあるので引き続いて取り組んでいく。・不登校の生徒が多いが実態はどうですか。西部の不登校対策ワーキング会議を活用して全校で取り組んでいます。その結果少しずつ効果も上がってきています。・不登校でも卒業できるのは不思議である。病気などで長期欠席をした生徒が保護者の希望で留年したケースはある。・いじめについては、定期的にアンケート等をとって実態の把握に努めていますか。 <p>○生徒の健康体力について</p> <ul style="list-style-type: none">・この項目の大きな問題は無い。・インフルエンザが流行しているとの話だが、何人ぐらい欠席すると学級閉鎖になりますか。出席停止になった生徒の勉強の遅れ対応について。・部活動については、一中と二中で中体連旗を分け合っているのが現状だ。生徒の健康状態を考慮して、加熱にならないようにしていきたい。 <p>○安全確保・施設設備について</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の安全対策はどのようにしているのか。ヒヤリ・はっとマップの充実活用。・やなせ大橋の道路は歩道が広いので安全だが、自転車が横に並んで走っている。・学校の施設は、築40年。2年かけて耐震工事と教室等のリニューアルが予定されている。バリアフリーを考慮したトイレや教室が完成する。 <p>○進路・生き方について</p> <ul style="list-style-type: none">・ちょうど前期の入試の日であったので、三年生の進路状況について説明をした。・家庭への進路情報の発信をこまめにして欲しいとの要望があった。・3年間を見通した系統的な進路指導をお願いしたい。			
所見及び課題	<ul style="list-style-type: none">・それぞれの立場の学校評議員さんから色々なご指摘やら提言があった。保護者対象のアンケートの中では出てこない貴重な意見が多かったので参考にして改善へつなげていきたい。・学校評価は実施後の考察とその対策をどう実行し、改善に結びつけるかが課題である。学校だけでなく、関係者を巻き込んだ今後の取り組みに力を注ぎたい。			